

オーストラリアでの 10 日間



藍住中学校 板東 愛佳

私が今回の海外研修に参加しようと決めた理由は、将来の夢に向かって国際的な感覚を身につけたいと思ったからです。

参加できると決まってから当日まで、とても楽しみにしていました。でもその一方で 10 日間家族と離れ、初めての海外へ行く事の不安と緊張もありました。オーストラリアに着いてからもまだ不安でしたがホストファミリーと会い、家に着いて少し話をすると、みんなの笑顔で緊張も不安もだんだんとわくわくした気持ちに変わっていきました。

1 日目、家族でバーベキューをしたのも忘れられない思い出です。家にはバーベキュー用の部屋があり、大きなオープンやピザ釜がありました。驚きと緊張の入り混じった味がしました。ホストファミリーとは毎日、海までドライブをしたり、もう一つの家族のように過ごしました。



学校では、初めて見る事ばかりでした。日本とは全く違い、授業を受ける時ノートと教科書ではなく、一人ひとりのパソコンを使い、机に座るのではなく、自由に教室の好きな場所で勉強していました。モーニングティーという時間はみんなでお菓子やフルーツを食べたり、学校で間食することはとても新鮮でした。

日本の文化を紹介する機会があり、阿波踊りを披露する事ができ、プレゼントとして、自分で作った藍染めのバンダナを渡す時には日本遺産になった藍染めと紹介しました。自分の住む町のすばらしい特産品を海外で紹介することができ、とても誇らしいと思いました。

英語の授業はもちろん、日本語は友達同士でも禁止でしたが、言葉が通じた時や授業の内容が理解できたときは、英語を学んでいて初めて感じる喜びでした。

私はこの海外研修で色々な事を学びました。不安な時に、いつも微笑んでくれたホストファミリーの愛情、飛行機の中や街中で困っていたら助けてくれる人々の優しさ、初めての海外と一緒に体験した仲間との協力する心、そして、英語を話すことの大切さです。

最終日、もっと英語を話せる様になって、もう一度オーストラリアに行きたいと思いました。この経験を活かして、これからのどんどん国際化の進む社会で、人を助ける仕事につきたいと思いました。

